

インフォメーション

第16回 畑作雑草研究会 開催のお知らせ

第16回畑作雑草研究会を下記の要領で開催いたします。近年、畑作では全国的に難防除雑草による問題が拡大しています。前回の畑作雑草研究会ではこのような難防除雑草を圃場内でまん延させない最大の予防策として圃場周辺の管理技術を取り上げました。しかし、すでに圃場内に侵入し、雑草害のために産地壊滅の危機が迫っているところもあります。これら難防除雑草に対する防除対策を少しでも早く構築するためには、まず、現場での雑草害の実態把握と生産者がどのような防除方法を望んでいるのかの情報収集が必要です。そして、これら情報から技術的課題を抽出するのが筋道と考えられますが、「雑草」に関しては情報をまとめる組織がないため、全体を見渡して現場の実態や要望を生かしつつ現実的な対策を構築することが困難になっています。作物栽培法や雑草発生には地域性があり、各地域の実情に合わせて技術開発が取り組まれています。しかし、「雑草」に関わる関係者が連携することで、効率的な技術開発が可能になることもあると考えます。

今回の研究会では、生産者が望む効果的な難防除雑草対策の構築のため、現場からの情報収集方法とそれを生かす関係諸機関の連携の仕組みづくりについて探りたいと思います。

本研究会に参加ご希望の方は、氏名（ふりがな）および所属等を明記の上、**11月30日**までに下記までお申し込みください（申込受付は**11月7日**から開始します）。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：平成26年12月4日（木） 14：30～16：30

2. 場所：浅草ビューホテル（〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1
<http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/>） TEL 03-3847-1111

- ・つくばエクスプレス「浅草駅」直結
- ・東京メトロ銀座線「田原町駅」徒歩7分
- ・都営浅草線「浅草駅」徒歩10分
- ・東武スカイツリーライン「浅草駅」徒歩10分

3. 内容

1) 長野県における難防除雑草にかかわる現地情報の共有体制構築と防除対策

青木政晴（長野県農業試験場 作物部）

長野県の穀類栽培において被害の発生、対策に苦慮している雑草は、水稻作では雑草イネ、シズイ、ムギ作ではヤグルマギク、ノハラジャク、カラスムギ、ネズミムギ、ダイズ作では帰化アサガオ類、アレチウリ等である。これらの難防除雑草についての現場での疑問、困窮に対して、雑草イネ対策の全県的なチーム活動を除き、試験場、専門技術員、全

農長野等では、個々の相対対応を繰り返してきた。同一草種が全県に散発され、情報共有がなされないために草種の特定期から対策（防除の失敗、対応の遅れを含めて）まで同じことが繰り返されがちであった。そこで、本年、「長野県主要農作物難防除雑草対策プロジェクトチーム」を設立し、全県的な情報共有、各地域での対策チーム活動による対応とネットワーク化を加速させることとした。

2) 雑草生物情報データベースを利用した情報の収集と提供

中谷敬子（農研機構・中央農業総合研究センター）

農研機構では雑草に関する最新の情報を農業従事者（現場）と研究者が双方向に利用できる「雑草生物情報データベース」を構築、公開している。このデータベースにおけるWebサイトの専用フォームを利用して農業現場から雑草の発生、被害、防除事例などの情報を提供するとともに、提供された情報がデータベースに整理、蓄積され、検索出力画面で新たな情報としてユーザーに提供される仕組みについて紹介する。

3) 大豆作における省力的な雑草防除技術の開発～植調での試験の取り組み～

山木義賢（日本植物調節剤研究協会研究所）

大豆作の雑草防除は、播種後の土壌処理剤と中耕培土の組合せが一般的であるが、要防除期間の長い地域やアサガオ類、ホオズキ類など難防除雑草が発生する圃場では必ずしも十分な防除効果をあげているとはいえない。そこで、植調協会では、畦間・株間処理を利用し、アサガオ類、ホオズキ類などの難防除雑草も対象とした一発処理技術を検討している。近年実施した試験結果から、難防除雑草に対する有効性や省力性などについて、概要を報告する。

4) 総合討論

司会 黒川俊二

難防除雑草の情報収集から技術開発まで、都道府県関係者、農薬メーカー、大学、公益財団法人、独立行政法人の研究所等における連携などについて討論を行う。それぞれの立場からの積極的な発言を期待する。

4. 参加費

学生（会員・非会員問わず）：無料

雑草学会個人会員：¥1,000

雑草学会個人会員以外：¥2,000

お問い合わせ

〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1

農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター 生産体系研究領域 澁谷知子

電子メール: tshibuya@affrc.go.jp (全角で表示しています. 送信時には半角で入力して下さい)

参加申し込み

参加申し込みは以下のフォームからお願いします。

<http://wssj.jp/FormMail/hatazassou/mpmailec/form.cgi>

*畑作雑草研究会は畑作における雑草管理技術に対する基礎研究から現地情報まで知見を共有・検討する場として、日本雑草学会学術研究部会の一つとして平成 15 年に設立しました。